

特定非営利活動法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク  
2007年度活動報告（2007年9月1日～2008年8月31日）

## 1. 組織体制

同志社大学産官学連携支援ネットワーク役員一覧

- 理事長：八田英二（同志社大学長）  
副理事長：五島 洋（弁護士：飛翔法律事務所）  
理事：岩淵貴史（公認会計士：監査法人トーマツ）  
抱 厚志（(株)エクス代表取締役社長）  
片山傳生（同志社大学副学長）  
眞下晋一（弁理士：三枝国際特許事務所）  
松本敏史（同志社大学商学部教授）  
中居成子（(株)ハート・アンド・キャリア代表取締役）  
小川佳秀（宝印刷(株)営業部長）  
大谷康弘（公認会計士：(株)関西ベンチャーインキュベーター代表取締役）  
田中 譲（英国国立ウェールズ大学経営大学院 MBA〈日本語〉プログラム  
アカデミック・ディレクター）  
和田 元（同志社大学研究開発推進機構長）  
辻内伸好（同志社大学リエゾンオフィス所長・知的財産センター所長）  
脇本裕正（株式会社アルマックインシュアランスパートナーズ執行役員）  
監 事：稲津喜久代（司法書士：あおぞら司法書士法務総合事務所）  
小田嶋淳（社会保険労務士：こころざし総合事務所）

## 2. 会員数（2008年8月31日時点）

個人：正個人会員	80人	賛助個人会員	5人	合計	85人
団体：正団体会員	11団体	賛助団体会員	5団体	合計	16団体

ご参考までに（2007年8月31日時点）

個人：正個人会員	78人	賛助個人会員	5人	合計	83人
団体：正団体会員	12団体	賛助団体会員	5団体	合計	17団体

## 3. 活動内容

### ①同志社大学プロジェクト科目（正規授業科目）に科目提供を行う

#### 【概要】

科目名称：地域団体商標から見た「京都ブランド商標」の育成提案  
開講期間：2008年度春学期 開講校地：同志社大学京田辺キャンパス  
科目担当者：NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク 荒浪 直哉  
科目代表者：同志社大学理工学部准教授 出口 博之氏  
その他NPO関係講師：五島洋氏（弁護士）、植田健一氏（社会保険労務士）、中尾敦信氏（知的財産コーディネータ）、巖瀬邦宏（知的財産コーディネータ）

\*同志社大学プロジェクト科目とは？

2006年度から同志社大学の授業科目（全学共通の教養教育科目）として設置されました。本科目の趣旨と目的は「地域社会や企業の方々を講師として招き、地域社会と企業が持つ『教育力』を大学の正規の教育課程の中に導入することです。学生に生きた智慧や技術を学ばせるとともに、『現場に学ぶ』視点を育み、学生が具体的・実践的プロジェクトに即して問題の「所在」と「解決」を考え抜く力を陶冶すること」にあります。

## ②イベント一覧

日時	場所	内容	講師
2007年10月11日 17:30～19:30	高槻商工会議所 3階第3会議室	「士業研究会」 『人材確保のための、これからの人事・労務対策～人材難の時代を勝ち残るために～』（人事・労務）	小田嶋 淳 氏 (こころざし総合事務所 社会保険労務士)
2007年10月11日 18:00～	同志社大学 京 田辺キャンパス D-egg 会議室	「士業研究会」 助成金審査のポイント』 『中小企業経営における特許の活用』	大谷 康弘 氏 (公認会計士) (株)関西ベンチャーインキュベート 代表取締役 眞下晋一氏 (弁理士) (三枝国際特許事務所)
2007年10月18日 15:15～17:15	高槻商工会議所 3階 第3会議室	「士業研究会」 『債権管理と債権回収』（経営法務）	五島 洋 氏 (飛翔法律事務所 弁護士)
2007年10月20日 11:00～15:00	丹波ワインハウス (京丹波町)	京丹波プロジェクト第1弾 本日開講京丹波ぼーく大学 「食から広がるまちづくり～先進事例に学ぶ～」 地元の岸本畜産から購入した豚の枝肉をさばきながら部位の説明やブロック肉の料理方法を学ぶ	記念講演： 今里滋氏 (同志社大学大学院 総合政策科学研究科教授)
2007年10月25日 17:30～19:30	高槻商工会議所 3階 第3会議室	「士業研究会」 『債権・動産譲渡担保登記（ABL）について』（不動産契約、登記など）	赤松 更 氏 (あおぞら司法書士法務総合 事務所 司法書士)
2007年10月27日 14:00～19:00	大阪府商工会館 7階第2講堂	同志社コラボネット(LCC 主催、NPO共催) 「変動する東アジア情勢と日本外交」 「介助犬アトムと共に生きる」	基調講演： 村田晃嗣氏 (同志社大学法学部教授) 館林千賀子氏 (読売新聞中部支社記者)
2007年11月 EVE祭期間中	同志社(今出川)	同志社大学学園祭で京丹波オリジナルスイーツの販売	協力者： 京丹波のケーキ屋「Bio sweet's capo. capo

			菓歩菓歩」の石橋香織様 同志社大学経済学部竹廣ゼミ生
2007年12月11日 18:30～20:30	SECOND HOUSE will 同志社(今出川) 寒梅館	京丹波プロジェクト第2弾 京丹波ワイン大学 in 同志 社キャンパス わいん大学の講義	黒井衛氏 (株式会社丹波ワイン)
2007年12月15日	同志社(今出川) 尋真館 20 番教 室(新町キャン パス)	第4回 同志社大学ビジネス プランコンテスト	審査員協力 北浦 弘順氏(株式会社南都銀行バリュー開 発部長) 団体会員 神保 敏明氏(池銀キャピタル株式会社代表 取締役社長) 団体会員 駒宮 淳史氏(同志社校友会大阪支部産官学 部会 LCC 副会長) 吉田 雅紀氏(株式会社あきない総合研究所 代表取締役社長) 団体会員 松本 敏史理事(同志社大学商学部教授) 和田 元理事(同志社大学研究開発推進機 構長) 辻内 伸好理事(同志社大学リエゾンオフィ ス所長)
2008年1月26日 14:00～16:30	丹波ワインハウ ス(京丹波町)	京丹波プロジェクト第3弾 京丹波野菜大学 in 丹波ワ インハウス 「京丹波特産品のブランド 化による地域活性化」事業概 要説明 「地域の元気印 食による 町おこし～三重県多気町の 取り組み～」	山口洋典氏 (同志社大学大学院総合政策科学研究科准 教授) 岸川政之氏 (三重県多気町企画調整課主幹)
2008年3月3日 17:30～19:30	同志社大学京田 辺キャンパス D-egg 2階会議 室	士業研究会メンバーによる アドバイザー委員会	
2007年6月15日 13:30～20:00	エル・おおさか	第6回異業種交流会 パネルディスカッション: ～同志社コラボネット～ (LCC共催) 「今の教育でいいの? 子ど もに必要なものを見つける」 分科会 A「21世紀を生きぬく教育」	パネリスト: 寺脇 研氏 (京都造形芸術大学教授、元文部科学省大臣 官房審議官) 岩城敏之氏 (キッズいわき ぱふ 代表取締役) 仲野栄子氏 (セラピスト: マリアネット代表) 鈴木直人氏 (同志社小学校校長) 加地伸行氏 (大阪大学名誉教授 元同志社大学専任フ

		B「“遊び”から学ぶこれからの教育」 C「親子の絆を深めるコミュニケーション」 D「根っこ教育と道草教育」 E「古典から学ぶ教育」	エロー) コーディネーター： 中居成子氏 (株)ハート・アンド・キャリア 代表取締役
2008年6月21日 ～22日	三重県多気町等	平成20年度京丹波プロジェクト ～三重県多気町～ 高校生レストラン「まごの店」体験ツアー	伊賀市「伊賀の里モクモク手づくりファーム」にて木村社長講演 多気町取り組み紹介 多気町役場 岸川氏 村林先生ミニ講演
2008年6月28日	丹波ワインハウス(京丹波町)	平成20年度京丹波プロジェクト ～まめおやの会～ 苗の定植	農業指導 野口文雄氏
2008年7月21日	京丹波くろまめ畑(京丹波町)	平成20年度京丹波プロジェクト ～まめおやの会～ 土寄せ・除草	
2008年8月23日	京丹波くろまめ畑(京丹波町)	平成20年度京丹波プロジェクト ～まめおやの会～ 黒豆の花を観察・除草	

### ③研究会活動

「同志社大学産官学連携支援ネットワーク」では、“産官学連携に関する研究会等の開催事業”の一環として以下の研究会を立ち上げています。また、会員の皆様が自由な発想で研究会を立ち上げ、自主的な活動を展開することを目的とした「自主研究会」が新たに活動を始めています。

#### ◇士業研究会 ※自主研究会

本NPOには多くの士業の方々に参加されています。そこで当研究会ではNPO会員の士業に対する要望の取りまとめを行い、NPOを通じて集まった士業メンバーの交流の場を増やすことで、会員間のネットワークを強化したいと考えています。また、同業者・同業者以外の知り合いを増やすことで、NPOの活動を支援することに加えて、自らの仕事にもプラスの効果が期待できる場となればと思っています。

今年度の具体的な活動としては、2ヶ月に1度、定例会を開催し、研究会会員相互の交流につとめました。また、定例会では、各回担当の会員から自身の専門分野に関する発表及び出席者との質疑応答を行うことで、それぞれの見識を広めていきました。

次年度の活動としては、研究会内部の交流だけでなく、外部の研究会との交流や研究会以外のNPO会員向け勉強会の開催など、士業研究会メンバーのノウハウを外部に提供していくことを考えています。

この研究会に興味のある方であれば、士業であるか否かに関わらず参加を歓迎します。

#### ◇同志社大学メセナ産学連携研究会 ※自主研究会

メセナに関心があるが経験がない、ノウハウがないなどの理由から行動をおこせないでいる企業（中小企業）のために、大学の持つ幅広い知的リソースを役立てていただくことで、多様なメセナ活動が展開され、より豊かな社会の実現に寄与することを目的としています（「草の根メセナ活動」）。

具体的な活動内容としては、京都府地域力再生プロジェクト支援事業にて、京丹波地域の企業と連携して京丹波特産品のブランド化による地域活性化に取り組んでいます。

※メセナ〔mecenat〕という言葉は、芸術文化支援を意味するフランス語。今回は、社会貢献の一環として行う、教育や環境、福祉なども含めた「企業の行う社会貢献活動」と、広義の解釈で使用しています。

\*NPO 法人会員である丹波ワイン株式会社様、同志社生活協同組合などとの連携により、「京丹波特産品のブランド化による地域活性化―農畜産物生産者と若者による食文化ネットワークの構築―」という内容で**京都府の平成 19 年度地域力再生プロジェクト支援事業に申請を行い、採択されました。**

#### ◇同志社ブランド・文化資源を活用した産学連携研究会 ※自主研究会

2007 年 9 月より毎月 1 回開催されている研究会も今年 11 月に 14 回目を迎えました。本研究会は同志社大学の資源を組み合わせ、商品展開を行うことで同志社大学を広く社会に PR することを目的にしております。参加者には大学教員、学生、学内関係者、企業、大学 OB を中心に約 30 名近くのメンバーが入り、これまで商品項目の検討を行い 130 個の商品案が提出されました。

本研究会の成果としては、今年 6 月に「同志社クラーク記念館オルゴール」の企画販売が挙げられます。本商品は、国の重要文化財「クラーク記念館」の改修工事に伴い、カレッジソングを奏でた「同志社らしさ」を特徴としたもので、クラシックオルゴール・クリスタルオルゴールの 2 種類を各 100 個製造しました。同志社生協で販売され、クラシック 62 台、クリスタルセット 27 台と順調な売れ行きです。また朝日新聞 2008 年 6 月 27 日（金）の朝刊にも掲載いただき、本 NPO の取り組みを紹介しました。

今後は、新島裏が愛した梅、ゼンザイに因んだ商品を作成予定で、さらなる大学のブランドの向上を追求していきます。

#### ④ベンチャー支援

##### ・経営支援相談室における起業相談

昨年に引き続き、田中理事による起業相談が行われました。

アドバイザー：田中譲氏（NPO 理事）

##### ・アドバイザーコミッティー

ベンチャー企業などの応援団であり、産学連携の成功事例を輩出すること、大学発ベンチャー企業などの立ち上げ支援を目的としています。NPO に所属する専門家が企業の経営者などの相談に応じます。

（同志社大学連携型インキュベーション施設 D-egg への入居者への相談会の開催）

第 1 回：2008 年 3 月 3 日 3 企業

アドバイザー：五島洋氏（弁護士）、眞下晋一氏（弁理士）、大谷康弘氏（公認会計士・税理士）、入江修二氏（東洋ビジネスコンサルタント代表取締役）、小池和明氏（ダイキンエアテクノ近畿株式会社特別顧問）、永田和彦氏（同志社大学リエゾンオフィス産学連携コーディネータ）

##### ・「同大・京銀ベンチャー支援会議」に参画

同志社大学と株式会社京都銀行は共同で、産学連携をさらに発展・充実させ、ベンチャー支援をよりいっそう推進していくため、「同大・京銀ベンチャー支援会議」を設置しており、その委員会メンバー

となっています(委員会事務局は NPO が担当)。当研究会の役割の一つは今年 1 月に立ち上げた「京都・同志社発ベンチャー育成ファンド」への企業の推薦などを行うことです。

(その他に、同志社大学は池田銀行との連携協定による「池銀キャピタル夢仕込ファンド D/I 投資事業組合」を組織し、投融資制度を持つ)

・第 3 回同志社大学ビジネスプランコンテスト (2007 年 12 月 15 日)

- ・法人会員である(株)池田銀行、(株)南都銀行が協賛。
- ・校友会大阪支部・L L C が協賛。

⑤同志社校友会大阪支部産学連携部会 (LCC) との連携 \*Liaison Clover Club

LCC とは産学連携事例研究会 (同志社コラボネット) を共催いたしました。

2007 年 10 月 27 日開催 同志社コラボネット (L C C 主催、N P O 共催)

2007 年 6 月 15 日開催 同志社コラボネット (N P O 主催、L C C 共催)

⑥広報活動

- ・リーフレット作成
- ・会報の発行 (対象 : 会員) 第 10 号、第 11 号
- ・メールマガジンの発行 (会員、非会員に関わらず、月に 1 度程度発行) No.29~No.41
- ・ホームページによる PR (<http://www.doshisha-net.org/>)
- ・イベント開催による P R 活動

以 上